



1/20(土)

《「オープンデータ」利活用の推進に関する連携事業》
大学生・自治体職員・社会人参加による
データから地域イベントを考えるワークショップ開催

熊本県と熊本学園大学は、2023年7月に連携協定を結び、「オープンデータ」利活用の推進に取り組んでいます。オープンデータとは、国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用(加工、編集、再配布等)できる形で公開されたデータのことです。社会課題の解決や新たなサービス、ビジネスの創出により経済活性化につながるものとして、その活用に大きな期待が寄せられています。

連携に基づく事業の一環として、「地域を楽しむイベントをデータから考えよう!」と題した、地域イベント創出のワークショップを開催します。「オープンデータ」と「(自分の)好きなこと」を掛け合わせて、データの利活用を学びながら「地域を楽しむイベント」を考える催しで、学生・自治体職員・社会人が一緒になって、グループワーク(アイディアソン)形式でアイデアを出し合います。参加者にオープンデータの必要性を感じてもらいながら、デジタル人材の育成やオープンデータ利活用の機運醸成につなげることを目的としています。

講師は、オープンデータに造詣の深い有識者としてデジタル庁が派遣する「オープンデータ伝道師」の牛島 清豪(うしじま せいごう)氏がつとめます。

よろしければ取材いただきますよう、ご案内申し上げます。

取材ご希望の方は必ず事前にご一報いただきますようお願いいたします

＜地域を楽しむイベントをデータから考えよう!～地域イベント創出のワークショップ～＞

- 開催日 2024年1月20日(土) 13:00～17:00
- 場所 熊本学園大学 新1号館みらい4階・141教室(熊本市中央区大江2-5-1)
- 参加費 無料
- 対象 熊本学園大学の学生・熊本県内の自治体職員・社会人
- プログラム 13:00～ 開会・イベント概要説明(本学名誉教授 境 章)
13:35～ アイディアソン「データを使った楽しい地域イベントを考えてみよう」
(個人ワーク・ペアワーク・チーム発表)
16:55～ 総括・閉会
- 講師 牛島 清豪(うしじま せいごう)氏/デジタル庁オープンデータ伝道師
(NPO法人公共デザインイニシアティブ理事長・Code for Kyushu代表)
- 参加人数 約30名
- 主催/協力 熊本県・熊本学園大学/Code for Kyushu

本リリースについてのお問合せ

熊本学園大学 広報室 TEL:096-364-8722(直通) Mail:koho-kgu@kumagaku.ac.jp

